



GOVERNOR'S

Vol. **03**
2020.09

ガバナーメッセージ



23-34の決議

国際ロータリー第2720地区 2020-2021年度 ガバナー

硯川 昭一

SUZURIKAWA SHOICHI

皆様、コロナの第2波により、クラブ運営に大変ご苦労されていることと存じます。ただあくまでも、休会するか、あるいはバーチャル会議にするかは自治権を持つ各クラブのご判断です。各クラブ会員の健康・安全を第一にお考え頂きたいと思います。

さて、RI 会長ノミニーにウィンザー・ローズランドクラブ（カナダ）のジェニファー E・ジョーンズ氏が決定しました。1989年に女性会員がロータリーに誕生してから初の女性RI 会長です。ロータリアンとして素晴らしい経歴をお持ちの方です。クナーク会長のメッセージの中で、「ロータリーに女性会員、特にリー



ダーを！」と強調されていたのは、もしかするとジョーンズ氏の誕生を予想されていたのかもしれない。

また、ベルリン音楽祭で主演男優賞・主演女優賞の区別が亡くなりました。いつしか、ロータリーもあえて女性会員と呼ばなくなる日を待ち望みたいと思います。

ロータリーには2つのモットーがあります。一つは他人のことを思い遣り、他人のために尽くそうという国際社会を含んだ対社会的奉仕活動に関する理念であり、私たちはこれを Service above self 「超我の奉仕」という哲学で現しています。もう一つは科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に、業界全体のモラルを高めていこうという職業奉仕の理念であり、私たちはこれを He profits most who serves best 「最も多く奉仕するもの最も多く報われる」という実践的な倫理原則で表現

しています。ロータリーにとってもっとも大切なこの二つの奉仕理念を定義している唯一のドキュメントが、23-34 の決議なのです。そしてこの2つのモットーが 1950 年のデトロイト国際大会で正式なロータリーの標語となりました。

この23-34の決議を詳しくご説明したいと思います。1911年第2回全米ロータリー連合会ポートランド大会でミネアポリスクラブ2代目会長、フランク・コリンズがエクスカッションのコロンビア川下りの船の中で即興で演説したのが「Service not self」でした。ただ、この段階では、利他の精神というより、あくまでもまず取引先の利益を考えることによって自らも潤う。会員の相互扶助が重要であり、ただそれも限界があるので、ロータリアン以外にも広めるというもので、シェルドンの唱える職業奉仕理念と非常に近いものでした。その後、「Service before self」「Service above self」と今の哲学へと変化して行きました。

1915年-1923年頃、奉仕理念を提唱・奨励していくことを主にするか、実際に困っている人たちへの奉仕を積極的に行っていくか、という路線対立がロータリアンの中で起こりました。理念提唱派は、自らの職業で利益を適正に配分し、業界の職業倫理を高揚し、自己研鑽に励み、奉仕活動は個人の立場で行うべきだと主張します。一方、奉仕実践派は、社会的弱者に対する人道的奉仕を実践すべきだ。そのためには、金銭的援助や RC の団体としての活動も積極的に行っていこうと主張します。

当時は、身体障害児への援助に熱心に取り組むクラブも多く、身体障害児対策（特にエドガー・アレンが有名で身体障害者養護協会を設立した）に傾注しすぎて資金的に行き詰るクラブも出てきました。この路線対立で、ロータリーは分裂の危機を迎えます。

1923年セントルイス国際大会で決議23-34（1923年国際大会の第34号議案）が採択されました。これは奉仕理念と奉仕実践の調和を図り、理念提唱か奉仕の実践かという路線対立を解消するものでした。

この6条からなる決議23-34は、現在では「社会奉仕に関する1923年の声明」として知られていますが、採択当時は、今の「地

域社会奉仕」に限定されるものではなく、その際のタイトルは、「綱領に基づく諸活動に対するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリークラブにおける今後の手引きとなる原則を定めること」という長いものでした。このタイトルからも、この決議23-34はロータリーにおける綱領に基づくすべての活動、すなわちその後の四大奉仕すべてを規制するドキュメントであることが判ります。実際、四大奉仕部門が誕生するのは1927年のベルギーのオステンド国際大会であり、この頃には、まだ今の地域社会奉仕は存在していませんでした。

第1条、ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者、最も多く報られる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

(鈴木一作氏が分かりやすくした和訳を添えます：ロータリーの根本は、利己と利他の心を上手く調和させる「超我の奉仕」という名

の人生哲学です。それは実生活上、実に道理にかなった「最もよく奉仕する者、最も多く報られる」という言葉を実践の原理・原則とした人生哲学です)

第2、3条ではそれぞれRCとRIの役割を述べ、

第4条では「ロータリーは実践哲学」であることを謳い、ロータリアンには受益者のニーズに適応した奉仕活動を実践する責務が課せられています。また、奉仕活動の実践に当たっては、個人の力には限界があるので、職場や地域社会の人を巻き込んで活動することが必要で、個人奉仕を原則としながらも、サンプルとして行うクラブの団体奉仕も認められており、毎年一件の異なった団体奉仕活動を実施すること、地域社会のニーズに適った新しい奉仕活動を開発することなどが条件となっています。

第5条で重要な「クラブ自治権」を確認し、

第6条では、社会奉仕活動の指針を示しています。

手続要覧の最初に記載されています。ぜひじっくりとお読み頂きたいと思います。

○ 今月の予定

9月26日(土) 次期ガバナー補佐研修会
WEB会議にて開催予定

○ 公式訪問予定

9月2日	熊本第3G(熊本東南・熊本平成・水前寺)
9月3日	熊本第3G(熊本東・熊本北)
9月4日	熊本第3G(熊本)
9月7日	熊本第3G(熊本グリーン)
9月8日	大分第2G(豊後高田・宇佐・宇佐八幡・宇佐2001)
9月9日	大分第2G(杵築・くにさき)
9月15日	大分第5G(佐伯・佐伯MARINE)
9月16日	大分第5G(臼杵・津久見・臼杵中央)
9月24日	大分第5G(竹田・豊後大野)
9月29日	熊本第7G(天草・天草中央・天草パルライン)

公式訪問風景



大分第4グループのガバナー公式訪問にて

寄付金のご協力感謝いたします。

米山功労者 マルチプル



龍 義則
熊本中央RC
(第2回)

米山功労者



松本 寛三
八代RC
(1回目)



赤城 義晋
八代RC
(8回目)



梶尾 博
八代RC
(4回目)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



福嶋 隆彦
熊本江南RC
(1回目)



龍 義則
熊本中央RC
(2回目)



上野 剛彦
宇土RC
(8回目)

ポール・ハリス・フェロー



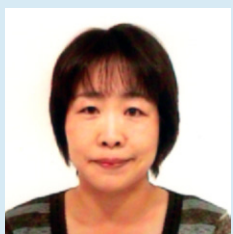
山室 昌敬
熊本江南RC



辛島 光司
八代RC



大賀 重毅
中津中央RC



神本 多貴子
中津中央RC



古田 廣美
中津中央RC



恒藤 雅彦
中津中央RC

ポール・ハリス・ソサイエティ



徳田 竜之介
熊本西RC



森野 修二
熊本平成RC



菊池 一利
大分臨海RC



入退会者のお知らせ

2020年8月20日現在

〇 入会者 新会員のご紹介をいたします

クラブ名	氏名	職業分類	推薦者
中津	佐藤 裕史	損害保険	伊藤敏宏・末永克典
中津	黒木 達夫	商業銀行	佐藤正直・末永克典
中津平成	菊池 康記	銀行業	-
別府	小野 公次	商業銀行	阿部 茂人
別府	首藤 登	料飲業	権藤 和雄
大分	植松 康成	政策金融	馬場 ヒロ子
大分	今川 尚俊	情報機器配付	高山 龍五郎
大分	鈴木 淳人	中央銀行	杉原 正晴
大分東	佐藤 泰則	普通銀行	-
大分東	柳原 達也	信用組合	那賀 圭介
大分南	小石 優仁	普通銀行・長期金融	佐藤 真広
大分中央	穂吉 勝己	土木請負業	田原和己・廣瀬真
大分城西	奈須 敬司	不動産管理	廣瀬 舜一

クラブ名	氏名	職業分類	推薦者
大分城西	二宮 浩司	内科医	佐藤 憲幸
大分キャピタル	高妻 正子	学習塾	荒木 亮
臼杵	足立 尚久	商業銀行	日高 勝文
玉名	坂本 公司	障害者児童施設	山田 邦男
荒尾	高岡 瑞樹	ソフト開発	清田 裕幸
熊本西	高木 弘和	専門学校	徳田 竜之介
八代	住吉 幸記	電気工事	豊岡浩明・松本健二
八代	下山 修生	社会保険労務士	福島和敏・藤井啓一
八代	寛代 誠志	電気供給	藤井啓一・吉武卓哉
八代	田中 俊浩	普通銀行	松木喜一・和久田和臣
八代	高田 伸一郎	貯蓄銀行	福島和敏・高野敬士
八代	平 和也	合成樹脂フィルム製造	藤井啓一・森永彰

〇 退会者

クラブ名	氏名	職業分類
中津	木村 通	旅行斡旋業
中津	橋口 英治	電気工事
中津	那須 千代	老人ホーム
中津	永松 秀基	商業銀行
日田	大塚 武明	清酒配布

クラブ名	氏名	職業分類
大分	森 毅	中央銀行
大分東	河野 浩	弁護士
大分東	阿部 誠	海洋土木
大分南	佐藤 真広	普通銀行・長期金融
臼杵	下辻 政雄	商業銀行

クラブ名	氏名	職業分類
熊本西南	福本 優	リフォーム業
熊本中央	牛尾 真瑚	司会業
熊本りんどう	堅田勝彦	-

緊急トピックス

快挙 アフリカ地域の野生型ポリオ根絶

世界保健機関（WHO）は、8月25日、WHO アフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。これは、ロータリーが最優先事項として掲げてきたポリオの世界的根絶に向けた、歴史的かつ重要な前進となります。アフリカ地域での数十年にわたる懸命な努力によるこの勝利を受け、ロータリーと**世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）**のパートナー団体（米国疾病対策センター [CDC]、UNICEF [国連児童基金]、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、Gavi ワクチンアライアンス）は、この公衆衛生上の達成を称え、強いコミットメント、連携、粘り強さがあれば世界からポリオを根絶できることの証であると述べました。

